

### 第3次小金井市子ども読書活動推進計画 進捗状況

※【事業実績自己評価】欄における評価基準について  
 S 計画以上にできた  
 A 計画どおりにできた  
 B 概ね計画どおりにできた(事業目標をある程度達成したが、今後の改善、検討を要する)  
 C できなかった

No	取組	施策項目	取組内容	所管部署	平成29年度事業実績	平成30年度事業実績	令和元年度事業実績	事業実績自己評価	評価の理由及び令和2年度以降の方向性、課題等
第3章									
1	(1) 乳幼児を育てる家庭への支援	ブックスタート事業の継続	読み聞かせや絵本を媒体にした親子のコミュニケーションの大切さを啓発するためにブックスタート事業を継続します。	健康課	ブックスタート事業で配付した本の冊数 →1028冊	ブックスタート事業で配付した本の冊数 →1030冊	ブックスタート事業で配付した本の冊数 →1,009冊	A	計画通りの実施ができた。また、継続して絵本を媒介とした親子のコミュニケーションの大切さを啓発していく。
2		情報提供方法の充実	乳幼児のおはなし会を利用したいと考えている保護者の元に情報が届くよう、更なる広報に努めていきます。	図書館	東分室のおはなし会のPR方法 →市報、HP、Twitter、チラシ、ポスター、カウンターでの声掛け	東分室のおはなし会のPR方法 →市報、HP、Twitter、チラシ、ポスター、カウンターでの声掛け	東分室のおはなし会のPR方法 →市報、HP、Twitter、チラシ、ポスター、カウンターでの声掛け 本館「とけっこのおへや」PR方法 →市報、HP、Twitter、ポスター、カウンターでの声掛け	A	令和元年度は東分室でのおはなし会の他、本館で赤ちゃんと保護者向けおはなし会「とけっこのおへや」を本実施し、そのための広報を行った。本館では、受付開始してから毎回すぐに定員に達する程、人気の事業になった。また令和2年度から、図書館ホームページをリニューアルする予定である。令和2年度は、コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら、広報に努める。
3		図書コーナーの設置	親子あそびひろばに図書コーナーを設置し、年齢・季節を考慮した絵本を配置します。	子育て支援課	絵本の冊数 →659冊	絵本の冊数 →691冊	絵本の冊数 →694冊	A	年齢・季節を考慮した絵本の配置は充実したものとなった。今後は新規購入も検討し、更に充実させていきたい。
4		(2) 親子で遊べる広場での読書活動への支援	読み聞かせ事業の実施	親子あそびひろばで絵本や紙芝居の読み聞かせ等を行い、親子のコミュニケーションの充実を図ります。	子育て支援課	事業の実施回数 →(実施回数)34回(参加者数)952人	事業の実施回数 →(実施回数)41回(参加者数)930人	事業の実施回数 →(実施回数)46回(参加者数)1,191人	A
5	(1) 乳幼児のいる家庭、乳幼児に関わる人への情報提供	成長に合わせた絵本や紙芝居等の紹介	探している絵本や紙芝居等の情報提供ができるようにサービスの充実に努めます。	図書館	児童書の購入冊数 →7,090冊	児童書の購入冊数 →7,493冊	児童書の購入冊数 →10,320冊	S	令和元年度は、本館で市立小学校の学級に貸出している「団体貸出パック」作成のため、通常の購入分とは別に資料を購入し、購入冊数が増加した。令和2年度は、利用したクラスの反応を見ながら、「団体貸出パック」の内容・冊数の見直しを検討していく。また、以下のことを実施した。 【本館】 ・季節行事絵本の整理を行った。 【西之台会館図書室】 ・非文学の書架について、棚の高さを変更し、よりわかりやすい書架の配置にした。 ・絵本の書架について、よりわかりやすい書架の配置にした。
6		乳児向け推薦図書パンフレットの作成	子育て中の保護者等への情報提供の充実に努めます。	図書館	「赤ちゃん向け絵本リスト」の印刷部数 →【貫井北分室】2,000部	「赤ちゃん向け絵本リスト」の印刷部数 →【貫井北分室】0部	「赤ちゃん向け絵本リスト」の印刷部数 →【貫井北分室】0部	A	平成29年度に印刷した在庫で、令和元年度も、必要部数が間に合った。令和2年度も状況にあわせて「赤ちゃん向け絵本リスト」を印刷し、図書館各館で広報に努め、乳幼児の保護者への情報提供の充実に努める。
7		関係機関への情報発信の見直し	情報発信や関係する方々への情報提供方法を検討し、周知活動の拡充に努めます。	図書館	関係機関へのおはなし会のチラシ配布枚数 →8,330枚	関係機関へのおはなし会のチラシ配布枚数 →8,440枚	関係機関へのおはなし会のチラシ配布枚数 →9,430枚	S	令和元年度は、本館のおはなし会の広報に努めたため、配布枚数が増えた。令和2年度は、図書館ホームページをリニューアルする予定である。令和2年度は、コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら、周知活動に努める。

No	取組	施策項目	取組内容	所管部署	平成29年度事業実績	平成30年度事業実績	令和元年度事業実績	事業実績自己評価	評価の理由及び令和2年度以降の方向性、課題等
8	乳幼児 2	(2) 図書館へ行きやすい環境の整備	子育て世代への支援	図書館	図書館内で実施する講座を利用した参加者のうち保育を利用した人数 →38人	図書館内で実施する講座を利用した参加者のうち保育を利用した人数 →29人	図書館内で実施する講座を利用した参加者のうち保育を利用した人数 →30人	A	令和元年度の本館での「子どもと読書に関する講座」は、3回のうち1回が赤ちゃんと保護者対象の講座だったため、参加者全員が保育を利用した。また、その他の2回は小学生～高校生や保護者を対象としたものだったが、乳幼児の兄弟を連れて参加する保護者は保育を利用した。緑分室の講座では、0～6歳の子どもの保護者が保育を利用し、講座の会場の中でプレイスペースを作り、その中で保育を行った。令和2年度も引き続き、乳幼児がいても安心して行きやすい環境の整備を検討する。
9			書架の見直し	図書館	テーマ図書の実施回数 →103回	テーマ図書の実施回数 →109回	テーマ図書の実施回数 →99回	B	令和元年度は季節ごとのテーマ展示の他、平成30年度から引き続き、オリンピック・パラリンピックをテーマにした展示、子どもと読書に関する講座のテーマにあわせた展示や、「福袋」のように本を数冊セットにして中身をあえて見せずに貸出すなど、各館工夫を凝らしたテーマ展示を実施した。3月に新型コロナウイルス感染拡大防止による臨時休館があったため、平成30年度より実施回数が減少した。令和2年度も引き続き、限られたスペースを有効に活用し、魅力的なテーマ展示を実施する。
10			図書館行事の周知活動の充実	図書館	図書館行事のHP更新回数 →93回	図書館行事のHP更新回数 →126回	図書館行事のHP更新回数 →122回	A	令和元年度は、図書館行事のお知らせや報告について、図書館ホームページを随時更新していたが、2月からイベント・行事が新型コロナウイルスの影響で中止となったため、平成30年度よりも更新回数が減少した。また令和2年度から、図書館ホームページをリニューアルする予定である。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら、周知活動に努める。
11			関係各課との連携	図書館	ブックスタート事業用に配付した「赤ちゃん向け絵本リスト」送付部数 →【貫井北分室】0部	ブックスタート事業用に配付した「赤ちゃん向け絵本リスト」送付部数 →【貫井北分室】0部	ブックスタート事業用に配付した「赤ちゃん向け絵本リスト」送付部数 →【貫井北分室】20部	A	平成28年度に送付した在庫で、令和元年度も、必要部数が間に合ったため、20部のみ送付した。令和2年度も状況にあわせて「赤ちゃん向け絵本リスト」を送付し、関係各課との連携を図る。
12	(3) 絵本や紙芝居等の充実	図書館	関係機関の発信する情報等を収集し、乳児向けの絵本や紙芝居等が充実できるように努めます。	図書館	紙芝居の購入数 →154枚	紙芝居の購入数 →147枚	紙芝居の購入数 →92枚	B	令和元年度は、全館での蔵書構成の検討に時間を要したため、紙芝居の購入数が減少した。令和2年度も引き続き、書架の状態を見ながら、遅滞なく紙芝居の充実に努める。
13	(4) 図書館等での定期的なおはなし会の実施	おはなし会の充実	図書館	図書館職員がおはなし会に関する外部の児童サービス研修に参加した回数 →14回	図書館職員がおはなし会に関する外部の児童サービス研修に参加した回数 →22回	図書館職員がおはなし会に関する外部の児童サービス研修に参加した回数 →9回	B	令和元年度も「多摩地域児童サービス研究会」や「児童図書館専門研修」、「図書館大会児童サービス研究会」といった外部の研修に参加したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった研修もあり、平成30年度よりも参加回数が減少した。令和2年度も引き続き、外部の研修に積極的に参加し、おはなし会の内容の充実に努める。	
14		関係団体との連携	図書館	新規のボランティア団体の受け入れ体制を整えるために、職員間でおはなし会の研修を図書館内で開催した回数 →4回	新規のボランティア団体の受け入れ体制を整えるために、職員間でおはなし会の研修を図書館内で開催した回数 →6回	新規のボランティア団体の受け入れ体制を整えるために、職員間でおはなし会の研修を図書館内で開催した回数 →4回	A	令和元年度は、本館で実施する赤ちゃんと保護者向けおはなし会「とどけっこのおへや」のため、練習を4回実施した。また、外部の講師に講座を実施いただいた際に、助言をいただいた。おはなし会の研修の他、市立小学校の学級に貸出している「団体貸出パック」作成のため、内容検討の打合せや選書作業を別途実施した。令和2年度も引き続き、おはなし会や団体貸出サービス等の充実にに向けた検討を行う。	

No	取組	施策項目	取組内容	所管部署	平成29年度事業実績	平成30年度事業実績	令和元年度事業実績	事業実績自己評価	評価の理由及び令和2年度以降の方向性、課題等
15	乳幼児	(4) 図書館等での定期的なおはなし会の実施	地域の特長にあったおはなし会の検討 対象となる子どもの年齢や地域の状況を検討し、地域にあったおはなし会ができるように検討を行います。	図書館	各館ごとのおはなし会の対象年齢とおはなし会回数 →【本館】(対象年齢)4歳以上(回数)31回(すとーりーたいむ)3【東分室】(対象年齢)(乳児)0歳から2歳程度(回数)4回(幼児)3歳以上の未就学児(回数)6回【緑分室】(対象年齢)3歳以上小学校3年生程度(回数)12回【貫井北分室】(対象年齢)4歳以上小学校2年生程度(回数)35回	各館ごとのおはなし会の対象年齢とおはなし会回数 →【本館】(対象年齢)(ととけっこのおへや)0歳から2歳まで(回数)7回(すとーりーたいむ)3歳以上(回数)48回【東分室】(対象年齢)(乳児)0歳から2歳程度(回数)4回(幼児)3歳以上の未就学児(回数)6回【緑分室】(対象年齢)3歳以上小学校3年生程度(回数)12回【貫井北分室】(対象年齢)4歳以上小学校2年生程度(回数)35回	各館ごとのおはなし会の対象年齢とおはなし会回数 →【本館】(対象年齢)(ととけっこのおへや)0歳から2歳まで(回数)4回(すとーりーたいむ)3歳以上(回数)42回【東分室】(対象年齢)(乳児)0歳から2歳程度(回数)4回(幼児)3歳以上の未就学児(回数)6回【緑分室】(対象年齢)3歳以上小学校3年生程度(回数)13回【貫井北分室】(対象年齢)4歳以上小学校2年生程度(回数)31回	A	新型コロナウイルスの影響により、2月下旬からおはなし会が中止となったため、実施回数は減少したが、参加者数は前年度より増加した。緑分室では、通常のおはなし会に加え、職員による「スペシャルおはなし会」を3回実施し56人が参加した。令和2年度は、子どもたちにおはなし会を安心して楽しんでもらえるよう、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を検討する。
16		おはなし会の情報整理	おはなし会の活動状況の情報リスト、マップ等を作り、情報提供システムの構築を図ります。	図書館	「たのしいとしょかん」の印刷枚数 →500枚 「読み聞かせ絵本リスト」の印刷枚数 →500枚	「たのしいとしょかん」の印刷枚数 →500枚 「読み聞かせ絵本リスト」の印刷枚数 →500枚	「たのしいとしょかん」の印刷枚数 →1000枚 「読み聞かせ絵本リスト」の印刷枚数 →500枚	A	令和元年度も、過去3年間本館と緑分室で実施したおはなし会のうち、特に子ども達に人気のあった本の中から図書館職員が選んだ本を掲載した「読み聞かせ絵本リスト」を作成・配布を行い、「子どもの読書週間」に合わせてリストと掲載資料のテーマ展示を実施した。令和2年度も引き続き「読み聞かせ絵本リスト」の作成や内容の見直しを行っている。
17	(5) 読み聞かせ講座の実施	関係団体への支援	関係団体の方の活動が更に充実するよう、講習会・講座・研修等の実施により支援します。	図書館	図書館が関係団体に後援している事業の回数 →3回	図書館が関係団体に後援している事業の回数 →3回	図書館が関係団体に後援している事業の回数 →4回	A	令和元年度も、図書館が関係団体を後援した。令和2年度も引き続き、関係団体への支援に努める。
18	(6) 外国語を母語とする子供、帰国した児童への読書活動の支援	外国語図書の充実	外国語図書の充実を図ります。	図書館	外国語図書の購入数 →79冊	外国語図書の購入数 →88冊	外国語図書の購入数 →50冊	B	平成30年度は、貫井北分室に、YA洋書コーナーを新たに作成したため、外国語図書の購入冊数が増加した。令和元年度は、通常の購入分の他、市立小学校の1年生の学級に貸出している「団体貸出パック」用資料として、英語の絵本を購入した。新刊を中心に購入したが、全体としては購入数が減少した。令和2年度も引き続き外国語図書の充実を図る。
19	3	(1) 園児への読書活動への支援	絵本に親しめる環境づくり	保育課	絵本の登場人物の手作り人形の展示園及び実施箇所数 →(くりのみ保育園) 2箇所(わかたけ保育園) 1箇所(小金井保育園) 1箇所(さくら保育園) 1箇所(けやき保育園) 8箇所	絵本の登場人物の手作り人形の展示園及び実施箇所数 →(くりのみ保育園) 3箇所(わかたけ保育園) 1箇所(小金井保育園) 1箇所(さくら保育園) 1箇所(けやき保育園) 8箇所	絵本の登場人物の手作り人形の展示園及び実施箇所数 →(くりのみ保育園) 3箇所(わかたけ保育園) 1箇所(小金井保育園) 1箇所(さくら保育園) 1箇所(けやき保育園) 8箇所	A	全園において絵本の登場人物の手作り人形を展示し、絵本に親しみの持てる環境づくりができた。令和2年度も昨年度と同程度、絵本の登場人物の手作り人形を展示する。
20		関係団体との情報交換	私立保育園や幼稚園等における読書環境づくりについて、定期的に開催している園長会等で情報交換等を行います。	保育課	園長会の開催数 →12回	園長会の開催数 →12回	園長会の開催数 →12回	A	園長会で情報交換を行うことができた。令和2年度以降も継続して情報交換を行う。
21	(2) 保育園での絵本や紙芝居の充実	絵本や紙芝居の購入・寄贈・リサイクル等の活用	絵本や紙芝居に関わる機関のおすすめ本リスト等を参考にして購入を検討します。	保育課	購入冊数 →332冊	購入冊数 →291冊	購入冊数 →271冊	A	一部の園において、大量の本の寄付があったため、購入冊数が前年比減となっているものの、全園において在庫状況を鑑みながら絵本を購入することができ、絵本の充実が図れた。

No	取組	施策項目	取組内容	所管部署	平成29年度事業実績	平成30年度事業実績	令和元年度事業実績	事業実績自己評価	評価の理由及び令和2年度以降の方向性、課題等
22	乳幼児	(3) 絵本に触れる環境づくり	園児が絵本に触れる工夫 乳幼児の手の届くところに絵本を置き、絵本に触れられる環境の充実に努めます。	保育課	各園でのクラスに配置している絵本の冊数 →(くりのみ保育園) 200冊 (わかたけ保育園) 160冊 (小金井保育園) 177冊 (さくら保育園) 135冊 (けやき保育園) 150冊	各園でのクラスに配置している絵本の冊数 →(くりのみ保育園) 200冊 (わかたけ保育園) 150冊 (小金井保育園) 216冊 (さくら保育園) 151冊 (けやき保育園) 150冊	各園でのクラスに配置している絵本の冊数 →(くりのみ保育園) 200冊 (わかたけ保育園) 150冊 (小金井保育園) 158冊 (さくら保育園) 223冊 (けやき保育園) 150冊	A	全園において各クラスに絵本を設置し、絵本に触れられる環境の充実に努めた。令和2年度以降も各クラスに絵本を配置し、充実に図る。
23		(4) 家庭への支援	家庭への情報提供 家庭で読むのに適した本の紹介を行うなど、家庭での図書活動の充実に支援します。	保育課	おたのしみ会でプレゼントした絵本の冊数 →557冊	おたのしみ会でプレゼントした絵本の冊数 →460冊	おたのしみ会でプレゼントした絵本の冊数 →501冊	A	おたのしみ会で絵本をプレゼントし、家庭での図書活動の充実に図れた。
24			絵本の貸出 幼児クラスの園児へ、保育園所蔵の絵本の貸出を行っています。	保育課	絵本の貸出回数 →10,901回	絵本の貸出回数 →8,632回	絵本の貸出回数 →7,658回	A	保育園所蔵の絵本の貸出を行い、家庭での読書活動の支援ができた。冊数は前年比減だが、降園時に園内で絵本を読んで帰る子どもも多かった。令和2年度以降も同様に希望者への絵本の貸し出しを行い、更なる読書活動の充実に図る。
25		(5) 絵本の読み聞かせ	絵本や紙芝居を通じた保育活動の充実 職員間での情報交換により、絵本や紙芝居を活用した保育活動の充実に努めます。	保育課	絵本にかかる職員研修回数 →2回/園	絵本にかかる職員研修回数 →2回/園	絵本にかかる職員研修回数 →2回/園	A	職員会議等で職員間での情報共有を行い、絵本や紙芝居を活用した保育活動の充実に努めた。令和2年度以降も情報交換を継続して行う。
26			(1) 朝読書や各教科等における読書活動等の工夫 読書機会の創出 本に親しむ習慣や読書時間の確保を行い、小学生・中学生が本に触れて読書の楽しさを実感する機会の充実に努めます。	指導室	朝読書を実施した校数及び読書週間を行った校数 →(朝読書)14校で実施 (読書週間・読書旬間)14校で実施	朝読書を実施した校数及び読書週間を行った校数 →(朝読書)14校で実施 (読書週間・読書旬間)14校で実施	朝読書を実施した校数及び読書週間を行った校数 →(朝読書)14校で実施 (読書週間・読書旬間)14校で実施	A	朝読書を実施した校数及び読書週間を行った校数については、計画通り全14校で実施することができたため、A評価とした。引き続き、各校にて、朝読書及び読書週間を行う。
27		(2) 読書活動推進計画の充実 充実した読書活動推進計画の作成 年間指導計画に位置づけ、前年度の取組に対する課題を改善した読書活動推進計画を作成することにより、充実した読書活動ができるようになります。	指導室	読書活動推進計画策定数 →全14校で作成	読書活動推進計画策定数 →全14校で作成	読書活動推進計画策定数 →全14校で作成	A	読書活動推進計画策定については、計画通り、全14校で作成しているため、A評価とした。今後も、全校において、読書活動推進計画を策定する。	
28	小学生・中学生		読書活動事例等に関する情報の共有 各学校が情報交換を行い、児童・生徒の読書経験や感想、各学校の実践事例等を家庭や地域等にも周知していきます。	指導室	学校図書館担当者会の開催回数 →年2回	学校図書館担当者会の開催回数 →年2回	学校図書館担当者会の開催回数 →年2回	A	学校図書館担当者会の開催回数については、年2回、学校図書館担当者会を開催するなど、昨年度と同程度開催することができた。次年度以降も引き続き開催する。
29		(3) 読書活動事例の共有 読書活動の充実 各学校が情報交換を行い、自校においても実践できる読書活動を見つけ、読書活動の充実に努めています。	指導室	昨年度からの工夫した読書活動を実施した取組 →昨年度に引き続き、中学校において、「100冊の本」リストを作成して全生徒に配布したことで、読書活動の充実に図った。小学校において、本に出てきた料理を給食の献立にした。図書委員による本の紹介活動を行う小・中学校がある。	昨年度からの工夫した読書活動を実施した取組 →中学校において、「100冊の本」リストを作成して全生徒に配布したことで、読書活動の充実に図った。小学校において、本に出てきた料理を給食の献立にした。図書委員による本の紹介活動を行う小・中学校がある。	昨年度からの工夫した読書活動を実施した取組 →中学校において、「100冊の本」リストを作成して全生徒に配布したことで、読書活動の充実に図った。小学校において、本に出てきた料理を給食の献立にした。図書委員による本の紹介活動を行う小・中学校がある。	A	工夫した読書活動を実施した取組として、昨年度に引き続き、各校が工夫した取組を実施したことからA評価とした。引き続き、各校の工夫した取組を推進していく。	
30		(4) 読書感想文コンクールへの参加 読書感想文コンクールの参加者の増加 応募する参加者を増やし、表彰される児童・生徒を増やします。	指導室	読書感想文コンクール参加者数及び表彰者数 →(参加者)1666人 (最優秀・優秀賞表彰者)13人 (入選)58人(佳作)116人	読書感想文コンクール参加者数及び表彰者数 →(参加者)1565人 (最優秀・優秀賞表彰者)15人 (入選)50人(佳作)118人	読書感想文コンクール参加者数及び表彰者数 →(参加者)1,305人 (最優秀・優秀賞表彰者)13人 (入選)60人(佳作)127人	A	読書感想文コンクール参加者数及び表彰者数については、一定程度の人数を維持しており、A評価とした。引き続き、読書感想文コンクール参加を積極的に募集する。	

No	取組	施策項目	取組内容	所管部署	平成29年度事業実績	平成30年度事業実績	令和元年度事業実績	事業実績自己評価	評価の理由及び令和2年度以降の方向性、課題等
31	(5) 地域との連携	充実した読書活動の実施	ブックトークや読み聞かせ、図書整理や図書修理等のボランティア活動に、保護者や地域の人が協力し、保護者や地域の人がボランティアとして参加した。	指導室	ボランティア活動で実施した取組 →ブックトークや朝読書での読み聞かせ、図書整理や図書室の掲示物等の作成に、保護者や地域の人がボランティアとして参加した。	ボランティア活動で実施した取組 →ブックトークや朝読書での読み聞かせ、図書整理や図書室の掲示物等の作成に、保護者や地域の人がボランティアとして参加した。	ボランティア活動で実施した取組 →ブックトークや朝読書での読み聞かせ、図書整理や図書室の掲示物等の作成に、保護者や地域の人がボランティアとして参加した。	A	ボランティア活動で実施した取組として、ブックトークや朝読書での読み聞かせ、図書整理や図書室の掲示物等の作成等、計画通りに実施できたため、A評価とした。また、保護者や地域の人がボランティアとして参加した。引き続き、地域の人がボランティア等の参加により充実した読書活動を推進する。
32	(6) 学校図書館の整備	学校図書館補助員の拡充	学校図書館補助員の配置している日数が拡充されるように検討します。	指導室	配置日数 →全14校において、週2日/1校	配置日数 →全14校において、週2日/1校	配置日数 →全14校において、週2日/1校	A	配置日数については、全14校において、週2日/1校として配置できているので、A評価とした。次年度も同様の配置日数を確保していく。
33	(7) 学校図書館の充実	図書に興味をもちがもてる工夫	蔵書の充実を図るとともに、配架の工夫や推薦図書コーナーの設置等を行います。	学務課・指導室	学校図書予算額 又は、決算額・購入冊数 推薦図書コーナー設置校数 →(学校図書予算額)7,033,000円 (決算額)7,343,970円 (購入冊数)4,682冊 (推薦図書コーナー設置校数)14校	学校図書予算額 又は、決算額・購入冊数 推薦図書コーナー設置校数 →(学校図書予算額)6,969,000円 (決算額)7,223,833円 (購入冊数)4,298冊 (推薦図書コーナー設置校数)14校	学校図書予算額 又は、決算額・購入冊数 推薦図書コーナー設置校数 →(学校図書予算額)7,496,000円 (決算額)7,620,602円 (購入冊数)4,305冊 (推薦図書コーナー設置校数)14校	A	昨年度と比較すると決算額・購入冊数ともに増加という結果となった。また児童・生徒数に対する図書の充足率は殆どの学校で100%を上回っており、蔵書数も昨年度比で3,000冊弱の増加となっている(174,362冊→177,247冊)。このため評価はAとしている。今後は推薦図書コーナーの更なる充実や購入済図書の更新などを含めたさらなる図書の量・質の充実に努めて参りたい。
34	小学生・中学生	図書の充実	各学校等が必要とする図書の貸出や充実に努めていきます。	図書館	学級文庫利用団体の団体数と団体貸出冊数 →(団体数)94団体(団体貸出冊数)22,252冊	学級文庫利用団体の団体数と団体貸出冊数 →(団体数)103団体(団体貸出冊数)23,141冊	学級文庫利用団体の団体数と団体貸出冊数 →(団体数)104団体(団体貸出冊数)23,548冊	S	平成30年度から、市立小学校の1年生の学級に貸出している「団体貸出パック」を合計12パック作成し、貸出を行った。令和元年度は、1パックあたり35冊入り、3パターンとして、小学校1年生向け団体貸出パックを6パック追加作成し、新たに、小学校2年生から小学校5年生の学級に貸出している「団体貸出パック」を、今年ごと18パック、小学校6年生の学級に貸出している「団体貸出パック」を、12パック作成した。今後も、学校関係者からの要望を聞きながら、より利用しやすい団体貸出サービスの充実に努める。
35	(1) 学校の読書活動支援	学校等への訪問	各学校だけでなく関係施設への出前での読み聞かせやブックトークを検討します。	図書館	学校訪問の実施施設数と実施回数及びその他施設の実施施設数と実施回数 →(学校訪問の実施施設数)9校 (学校訪問の実施回数)9回 (その他施設の実施施設数)1施設 (その他施設の実施回数)6回	学校訪問の実施施設数と実施回数及びその他施設の実施施設数と実施回数 →(学校訪問の実施施設数)9校 (学校訪問の実施回数)9回 (その他施設の実施施設数)10施設 (その他施設の実施回数)13回	学校訪問の実施施設数と実施回数及びその他施設の実施施設数と実施回数 →(学校訪問の実施施設数)9校 (学校訪問の実施回数)10回 (その他施設の実施施設数)6施設 (その他施設の実施回数)26回	S	令和元年度も本館では中高生対象の講座を実施し、市内の高校を訪問し、チラシ配布の依頼を実施した。緑分室では、児童発達支援センターを2回ほど訪問し、15分程度の読み聞かせを実施した。貫井北分室では、本町児童館の乳幼児対象講座に訪問し、30分程度、わらべうた、布あそび、読み聞かせなどを実施した。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら、各学校だけでなく関係施設への出前での読み聞かせやブックトークを検討する。
36	関係各課との連携	関係各課との連携	関係する施設への訪問や会議等へ参加し、図書に触れる機会を作ることができるように、関係各課との連携を図ります。	図書館	関係機関との打合せ回数 →4回(市教研との交流会1回、小金井第一中学校3回)	関係機関との打合せ回数 →10回(学校読書推進委員会1回、市教研1回、学校図書室司書7回、緑小学校1回)	関係機関との打合せ回数 →7回(学校読書推進委員会1回、市教研1回、学校図書室司書1回、緑中学校4回)	A	令和元年度も関係する施設と連携を図れたため、A評価とした。学校図書室司書との交流会で、市立小中学校図書室司書と連携の取組と課題について、グループワークを実施した。また、図書館緑分室では、緑中学校図書委員とイベントの情報交換をした他、図書館緑分室で緑中学校図書委員のおすすめ本展示のため、打ち合わせ及び展示作成を実施した。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら、交流の機会が持てるよう、関係機関と連携を図る。

No	取組	施策項目	取組内容	所管部署	平成29年度事業実績	平成30年度事業実績	令和元年度事業実績	事業実績自己評価	評価の理由及び令和2年度以降の方向性、課題等
37	2 (2) 学校図書館との連携	学校図書館の充実への支援	学校図書館が充実できるように、情報交換を行い、また、学校からの質問や相談(レファレンス)に対応するなど、学校図書館が充実できるように支援していきます。	図書館	学校図書館向け講座回数、調べ学習の実施回数、学校から市立図書館へ見学を実施した回数、学校図書館を市立図書館職員が見学した回数 →【本館】本の修理講習会(調べ学習)6回 (学校から市立図書館へ見学を実施した回数)6回 (学校図書館を市立図書館職員が見学した回数)9回	学校図書館向け講座回数、学校図書室司書との交流会の実施回数、調べ学習の実施回数、学校から市立図書館へ見学を実施した回数、学校図書館を市立図書館職員が見学した回数 (学校図書館向け講座)1回 →【本館】本の修理講習会(学校図書室司書との交流会の実施回数)7回 (調べ学習)1回 (学校から市立図書館へ見学を実施した回数)6回 (学校図書館を市立図書館職員が見学した回数)8回	学校図書館向け講座回数、学校図書室司書との交流会の実施回数、調べ学習の実施回数、学校から市立図書館へ見学を実施した回数、学校図書館を市立図書館職員が見学した回数 (学校図書館向け講座)2回 →【本館】本の修理講習会【貫井北】学校図書館司書の講座(学校図書室司書との交流会の実施回数)1回 (調べ学習)10回 (学校から市立図書館へ見学を実施した回数)10回 (学校図書館を市立図書館職員が見学した回数)1回	A	令和元年度は、前年度に比べ、特に、調べ学習の利用回数が増加した。調べ学習については、平成30年度から図書館ホームページでの広報や交流会の場での情報提供など、学校関係者へ向けて、広報を積極的に実施している。今後も調べ学習など図書館の情報を積極的に周知し、学校図書館が充実できるように引き続き支援する。
38	小学生・中学生	行事の情報提供	読書週間に行われる各種行事の情報を学校に提供するとともに、子どもや保護者、教職員の参加を促します。	図書館	一年間に実施した学校への情報提供回数 →33回	一年間に実施した学校への情報提供回数 →45回	一年間に実施した学校への情報提供回数 →74回	S	令和元年度も本館では、中高生対象と小学生と小学生の保護者対象講座を実施したため、市立小中学校14校と、市内高校4校に講座のチラシを配布した。その他、団体貸出のお知らせを市立小中学校14校に2回配布した。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら、各種行事の情報を学校に提供するとともに、子どもや保護者、教職員の参加を促す。
39	3 (1) 図書館へ行きやすい環境の整備	図書館に来るきっかけ作り	小学生・中学生が参加できるような行事を実施し、「子ども読書の日」、読書週間を周知し、図書館に来るきっかけ作りを検討します。	図書館	読書週間に実施しているテーマ図書の内容と冊数 (読書週間に実施しているテーマ図書の内容) →【本館】おはなしかいにてね【東分室】本だいき【緑分室】①読み聞かせ絵本リスト②こどもの日関連【貫井北分室】こんな本よんだよ! (読書週間に実施しているテーマ図書の冊数) 【本館】99冊 【東分室】116冊 【緑分室】約40冊	読書週間に実施しているテーマ図書の内容と冊数 (読書週間に実施しているテーマ図書の内容) →【本館】おはなしかいにてね【東分室】本だいき【緑分室】①読み聞かせ絵本リスト②こどもの日関連【貫井北分室】ほんがすき としよかんがすき (読書週間に実施しているテーマ図書の冊数) 【本館】100冊 【東分室】143冊 【緑分室】120冊 【貫井北分室】78冊	読書週間に実施しているテーマ図書の内容と冊数 (読書週間に実施しているテーマ図書の内容) →【本館】おはなしかいにてね【東分室】本との出会い【緑分室】①読み聞かせ絵本リスト②こども③おでかけ【西之台会館図書室】よみきかせ絵本 (読書週間に実施しているテーマ図書の冊数) 【本館】70冊 【東分室】82冊 【緑分室】150冊 【西之台会館図書室】30冊	A	令和元年度も前年度に引き続き、「子ども読書の日」にあわせて、「読み聞かせ絵本リスト」の配布を全館で実施し、本館、東分室、緑分室、西之台図書室では、「読み聞かせ絵本リスト」の絵本の展示も行った。本館では、「読み聞かせ絵本リスト」に掲載されている本を、3歳以上児童対象のおはなしかい「すとーりーたいむ」の場で読み聞かせを行った。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「子ども読書の日」、読書週間を周知することが出来なかったが、引き続き、図書館に来るきっかけ作りを検討する。
40		魅力ある図書館に向けた検討	今後の図書館の位置づけや考え方を検討する際には、児童・生徒が利用したいと感じ、興味を持つような図書館を目指して検討を行います。	図書館	児童へのアンケート実施日と実施内容と回答枚数 →【本館・東分室・緑分室・貫井北分室】(実施日)平成29年6月16日(金)～平成29年7月7日(金) (実施内容)①読みたい本について②図書館にあったら良いと思うものについて③図書館への願い事について (回答枚数)122枚	児童へのアンケート実施日と実施内容と回答枚数 →【本館・東分室・緑分室・貫井北分室】(実施日)平成30年6月19日(火)～平成30年7月7日(土) (実施内容)①読みたい本について②図書館にあったら良いと思うものについて③図書館への願い事について (回答枚数)140枚	児童へのアンケート実施日と実施内容と回答枚数 →【本館・東分室・緑分室・貫井北分室】(実施日)令和元年6月18日(火)～平成30年7月7日(日) (実施内容)①読みたい本について②図書館にあったら良いと思うものについて③図書館への願い事について (回答枚数)120枚	A	昨年度に引き続き、七夕の時期に、西之台会館図書室以外の館で、来館した児童へのアンケートを実施した。本館・緑分室では七夕の笹と短冊も合わせて展示を行った。令和2年度は、コロナ感染拡大防止対策を講じながら、児童・生徒が利用したいと感じ、興味を持つような図書館を目指して引き続き検討を行う。

No	取組	施策項目	取組内容	所管部署	平成29年度事業実績	平成30年度事業実績	令和元年度事業実績	事業実績自己評価	評価の理由及び令和2年度以降の方向性、課題等
41	3 (2) 図書等の充実	図書等の購入・寄贈・リサイクル等の活用	小学生・中学生からの要望、学校図書館との情報交換等を行い、より魅力的な図書等が充実するように努めます。	図書館	関係機関との打合せ回数 児童へのアンケートの回答の要望の検討 学校図書館の見学回数 →(関係機関との打合せ回数)5回 (児童へのアンケートの回答の要望の検討)七夏の時期に西之台会館図書室以外の館で、児童へアンケートを実施し、読みたい本について、要望が多かった資料を購入した。眞井北分室では、YAコーナーに、ノートを置き、図書館への意見や要望、おすすめの本やCDについて、記載があったものについて、運営や選書に反映させた。 (学校図書館を市立図書館職員が見学した回数)9回	関係機関との打合せ回数 児童へのアンケートの回答の要望の検討 学校図書館の見学回数 →(関係機関との打合せ回数)10回 (児童へのアンケートの回答の要望の検討)七夏の時期に西之台会館図書室以外の館で、児童へアンケートを実施し、読みたい本について、要望が多かった資料を購入した。 (学校図書館を市立図書館職員が見学した回数)8回	関係機関との打合せ回数 児童へのアンケートの回答の要望の検討 学校図書館の見学回数 →(関係機関との打合せ回数)7回 (児童へのアンケートの回答の要望の検討)七夏の時期に西之台会館図書室以外の館で、児童へアンケートを実施し、読みたい本について、要望が多かった資料を購入した。 (学校図書館を市立図書館職員が見学した回数)1回	B	令和元年度も児童へのアンケートの回答の要望を検討した。本館では、児童へのアンケートで、読みたい本について、要望が多かった資料を、市立小学校の学級に貸出している「団体貸出パック」内の資料として採用した。緑分室では、「虫がいるといい」という要望に応え、不定期で昆虫の生態展示を4回実施した。眞井北分室では、要望が多かった資料の買い替えを実施した。 令和2年度も、より魅力的な図書等が充実するように努める。
42	小学生・中学生 4	子育て世代への支援	親子を対象とした絵本等の読み聞かせや朗読の講座等の実施を検討し、また、自主講座において読書活動を推進する企画による参加を奨励します。	公民館	自主講座の実施回数 →1回	自主講座の実施回数 →1回	自主講座の実施回数 →0回	B	令和元年度は、10月に実施予定の子ども対象の自主講座が、天候不良の影響により、やむを得ず実施ができなかったため、評価をBとした。 今後は、コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら、絵本等の読み聞かせや自主活動においての読書活動ができるよう検討する。
43		図書に触れるきっかけ作り	読み聞かせや朗読の講座等において関係図書の紹介、案内を行い、読書に触れる機会を増やします。	公民館	関係図書の紹介冊数 →124冊	関係図書の紹介冊数 →191冊	関係図書の紹介冊数 →208冊	A	令和元年度も関係図書の紹介冊数が、前年度より増加したため、評価をAとした。 今後も読書に触れる機会を作る。
44		(1) 公民館での読書活動の推進	企画実行委員の会議において読書推進の提案を行い、講座等を通じて充実した活動ができるように支援していきます。	公民館	企画実行委員会の会議において、子どもを対象とした講座の企画段階で、関連書籍の紹介の提案等を行った回数→3回	企画実行委員会の会議において、子どもを対象とした講座の企画段階で、関連書籍の紹介の提案等を行った回数→3回	企画実行委員会の会議において、講座の企画段階で、関連書籍の紹介の提案等を行った回数→2回	B	企画実行委員会の会議において、講座の企画段階で、関連書籍の紹介ができるよう検討する。
45		図書館との連携	図書館との共催事業等を行い、効果的に読書活動の推進を図ります。	公民館	図書館との共催事業の実施回数 センターまつりなど →13回	図書館との共催事業の実施回数 センターまつりなど →18回	図書館との共催事業の実施回数 センターまつりなど →19回	A	前年度と比較し、図書館との共催事業の実施も増えている傾向から、評価をAとした。 今後も図書館と連携し、共催事業等を実施する。
46		リサイクル図書事業の周知	センターまつりでのリサイクル図書事業の周知等を行います。	公民館	センターまつり図書配布数 →4,279冊	センターまつり図書配布数 →2,515冊	センターまつり図書配布数 →1,548冊	B	令和元年度は公民館センターまつりがコロナウイルス感染拡大防止により一部中止になったところがあった。また、センターまつりに合わせて、リサイクル図書を配布していたが、普段の開館時に配布量を増やしたため、大幅に減った傾向にある。普段の図書館開館の配布では、①図書館を普段利用される方により活用してもらうことができる。②センターまつりでの安全面をより確保できるというメリットがある。令和2年以降も、センターまつりでのリサイクル図書事業の周知等を行う。
47		(2) 公民館での広報活動	情報提供の拡充活動	読書活動についての関連記事の掲載、公民館独自で作成するポスターによる広報、掲示板での情報提供回数を増やしていきます。	公民館	情報提供回数 →1回	情報提供回数 →3回	情報提供回数 →3回	B
48	(3) 児童館での読書活動の推進	図書に触れるきっかけ作り	地域の関係団体が行う読み聞かせの場の充実を図ります。	児童青少年課	読み聞かせ実施回数 →31回	読み聞かせ実施回数 →31回	読み聞かせ実施回数 →28回	A	コロナウイルス感染拡大防止のため、3月は中止になったが、読み聞かせの開催回数を前年度並みに実施することができ、図書に触れる機会を充実することができた。今後も読み聞かせ等の図書に触れる機会の充実に向けて努める。

No	取組	施策項目	取組内容	所管部署	平成29年度事業実績	平成30年度事業実績	令和元年度事業実績	事業実績自己評価	評価の理由及び令和2年度以降の方向性、課題等	
49	小学生・中学生	(4) 児童館・児童保育所の図書コーナーの充実	小学生・中学生が読書に興味を持つよう、各施設の読書活動の実態に合わせ、図書コーナーの充実を図ります。	児童青少年課	図書冊数 →約9,788冊	図書冊数 →約9,884冊	図書冊数 →約11,866冊	A	昨年度と比較し、1,900冊程度増えた。書架スペースに限りがあるため、在庫状況等を見ながら書架内容について充実させる。	
		関係団体への支援	地域文庫・サークル等の活動ができるように、情報提供や活動の支援になるように図書の充実を目指します。	図書館	おはなし会を実施しているボランティア団体の貸出回数 →16回	おはなし会を実施しているボランティア団体の貸出回数 →19回	おはなし会を実施しているボランティア団体の貸出回数 →8回	B	令和元年度も要望に応じて、おはなし会を実施しているボランティア団体への貸出を実施した。今後も引き続き、関係団体への活動の支援を行う。	
		(5) 家庭文庫や地域文庫等の読書活動への支援	図書に触れるきっかけ作り	社会教育関係団体で読書活動を行っている団体を含む各種団体の事業への支援や、放課後子ども教室での読み聞かせ教室の開催等、読み聞かせ等の図書に触れる機会の充実に努めます。	生涯学習課	読書活動事業の実施回数 →放課後子ども教室にて読書活動を86回開催	読書活動事業の実施回数 →放課後子ども教室にて読書活動を89回開催	読書活動事業の実施回数 →放課後子ども教室にて読書活動を94回開催	A	放課後子ども教室での読み聞かせ教室の開催回数を前年度並みに開催することができ、図書に触れる機会を充実することができた。今後も読み聞かせ等の図書に触れる機会の充実に努めていく。
		(1) 各種行事の実施	各種行事の実施	年齢が上がっても継続して図書に興味をもてるように、YA世代と情報交換を行い、ニーズの把握に努め、各種行事を開催します。	図書館	貫井北分室のYAサポーターミーティングの実施回数と参加人数 →(実施回数)6回 (参加人数)42人	貫井北分室のYAサポーターミーティングの実施回数と参加人数 →(実施回数)6回 (参加人数)33人	貫井北分室のきたまちYAひろばの実施回数と参加人数 →(実施回数)5回 (参加人数)25人	B	令和元年度は、実施回数、参加人数ともに、減少したため、B評価とした。令和2年3月に1回開催予定であったが、コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。令和2年度は、コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら、YA世代のニーズの把握に努め、各種行事を開催していく。
53	YA世代	(2) 図書に触れる環境の整備	図書に触れるきっかけ作り	図書離れの割合が高いYA世代が参加しやすい行事等を行い、図書に触れる環境作りを充実させます。	図書館	YA世代図書の蔵書数 →2,863冊	YA世代図書の蔵書数 →3,066冊	YA世代図書の蔵書数 →3,069冊	A	YA世代図書の蔵書数が増加したため、A評価とした。東分室では、平成30年度からYAコーナーを新設し、テーマを決め、図書の入れ替えを行いながら展示を行っている。令和元年度は3回、合計70冊程度展示した。令和2年度から、図書館ホームページで新たに、YAのページを作成し、図書館の使い方の他、図書館のYAコーナーの紹介やオススメの本の紹介を行う予定である。今後も図書の充実に加え、YA世代が図書に触れる環境作りを充実させる。
		(3) 高校との連携	高校等との情報交換	高校等と積極的に情報交換を行い、おすすめ図書の紹介などを行っていき、充実した関係づくりを目指します。	図書館	高校等との情報交換実施回数 →【緑分室】2回	高校等との情報交換実施回数 →【本館】4回【東分室】2回	高校等との情報交換実施回数 →0回 中学生の一日図書館員 →【貫井北分室】1回5人 中学生の職場体験学習 →【本館】1回3人 【東分室】1回3人 【緑分室】2回4人 高校生の校外学習受入 →【緑分室】1回1人 【貫井北分室】1回1人	A	令和元年度は、中学生の一日図書館員、中学生の職場体験学習、高校生の校外学習受入を行った。高校生の校外学習受入では、緑分室では、カウンター業務の他、図書館資料を書架に並べる作業である配架業務を実施、貫井北分室では、イベント事業である「子ども哲学」や「ピピリオバトル」に参加してもらった。図書館全体として、中学生、高校生の利用が少ないため、中学校、高校と積極的に情報交換を行い、充実した関係づくりを目指す。
55	特別な支援を必要とする子ども	(1) 各学校での取組	図書の充実	子どもの状態や特性、生活経験等を考慮した適切な図書を選定し、特別な支援を必要とする子どもが読書に親しんでいけるよう努めます。	指導室	特別支援学級の図書購入冊数 →24冊	特別支援学級の図書購入冊数 →55冊	特別支援学級の図書購入冊数 →31冊	A	特別支援学級の図書購入冊数は、その年の子どもの特性や発達段階に応じて購入されるため、令和元年度は31冊のニーズとなった。令和2年度以降もニーズに合わせて購入する。
56	特別な支援を必要とする子ども	(2) 関係各課の支援	図書に触れる環境づくり	関係各課の施設で特別な支援を必要とする子どもが来て図書に触れられる機会ができるように、情報提供や機器の選択の際に相談等の対応を行い、特別な支援を必要とする子どもたちが図書に触れる環境整備に協力します。	自立生活支援課	きらりの図書冊数 →129冊	きらりの図書冊数 →130冊	きらりの図書冊数 →160冊	A	蔵書は一定量あり、特別な支援を必要とする子どもたちが図書に触れられる環境整備は図られていると考えている。今後は必要に応じて蔵書の入れ替えを行い、無駄のない環境整備ができるようにしていきたい。



No	取組	施策項目	取組内容	所管部署	平成29年度事業実績	平成30年度事業実績	令和元年度事業実績	事業実績自己評価	評価の理由及び令和2年度以降の方向性、課題等
57	1 (3) 支援の必要な子どもが図書館等へ行くことへの支援	療育施設等と図書館との連携	特別な支援を必要とする子どもたちが、図書館等へ行きやすくなるための支援に努め、療育施設等と図書館との連携を図ります。	自立生活支援課	きらりと図書館の連携回数 →6回	きらりと図書館の連携回数 →4回	きらりと図書館の連携回数 →21回	S	令和元年度は、平成30年度よりも図書館からきらりへの訪問回数が大幅に増えたことから、S評価とした。今後も情報交換を行いながら連携を図っていく。
58	2 (1) 関係施設への情報提供	関係施設との連携	市内の特別支援学校や療育施設等と連携し、団体貸出や図書に関する情報提供を行い、支援します。	図書館	市内の特別支援学校や療育施設等の団体貸出冊数 →102冊	市内の特別支援学校や療育施設等の団体貸出冊数 →48冊	市内の特別支援学校や療育施設等の団体貸出冊数 →70冊	A	令和元年度は、前年度に比べて特別支援学校や療育施設に対する貸出冊数が増加した。令和2年度も引き続き、団体貸出サービスや情報提供ができることをPRし、支援を行う。
59	特別な支援を必要とする子ども	(1) 特別な支援を必要とする子供の読書活動の支援 読書ができる環境への支援	本とあわせて読書に必要な福祉機器類等の購入も検討し、読書活動の支援に努めます。	図書館	図書館の福祉機器類の総数と内訳 →33台 【本館】12台(リーディングトラッカー2枚、筆談機2台、拡大レンズ1台、移動式拡大レンズ1台、拡大読書機1台、車椅子1台、コミュニケーションボード1台、老眼鏡3台) 【東分室】8台(筆談ボード、老眼鏡3台、拡大鏡4台) 【緑分室】5台(拡大鏡・コミュニケーションボード・老眼鏡3台) 【貫井北分室】15台(コミュニケーションボード、老眼鏡3台、拡大鏡) 【西之台会館図書室】3台(老眼鏡3点)	図書館の福祉機器類の総数と内訳 →35台 【本館】14台(リーディングトラッカー2枚、筆談機2台、拡大レンズ2台、移動式拡大レンズ1台、拡大読書機1台、車椅子1台、コミュニケーションボード2台、老眼鏡3台) 【東分室】8台(筆談ボード、老眼鏡3台、拡大鏡4台) 【緑分室】5台(拡大鏡・コミュニケーションボード・老眼鏡3台) 【貫井北分室】5台(コミュニケーションボード、老眼鏡3台、拡大鏡) 【西之台会館図書室】3台(老眼鏡3点)	図書館の福祉機器類の総数と内訳 →35台 【本館】14台(リーディングトラッカー2枚、筆談機2台、拡大レンズ2台、移動式拡大レンズ1台、拡大読書機1台、車椅子1台、コミュニケーションボード2台、老眼鏡3台) 【東分室】8台(筆談ボード、老眼鏡3台、拡大鏡4台) 【緑分室】5台(拡大鏡・コミュニケーションボード・老眼鏡3台) 【貫井北分室】5台(コミュニケーションボード、老眼鏡3台、拡大鏡) 【西之台会館図書室】3台(老眼鏡3点)	A	令和2年度も引き続き、本とあわせて読書に必要な福祉機器類等の購入も検討し、読書活動の支援に努める。
60	3 (2) 読書環境への配慮	安心して来られる図書館への検討	特別な支援を必要とする子どもやその保護者が、図書館に安心して来られるよう、環境の整備を検討します。	図書館	特別な支援を必要とする子ども向けの図書の冊数 →81冊 【本館】49冊(布絵本7冊、ピクトグラム絵本1冊、点字絵本35冊、LLブック絵本6冊) 【東分室】25冊(布絵本6冊、点字絵本19冊) 【緑分室】4冊(点字絵本4冊) 【貫井北分室】3冊(点字絵本3冊)	特別な支援を必要とする子ども向けの図書の冊数 →91冊 【本館】52冊(布絵本7冊、ピクトグラム絵本1冊、点字絵本34冊、LLブック絵本6冊、その他さわる絵本など4冊) 【東分室】26冊(布絵本6冊、点字絵本20冊) 【緑分室】4冊(点字絵本4冊) 【貫井北分室】9冊(点字絵本9冊)	特別な支援を必要とする子ども向けの図書の冊数 →121冊 【本館】59冊(布絵本8冊、ピクトグラム絵本2冊、点字絵本36冊、LLブック絵本6冊、その他さわる絵本など7冊) 【東分室】26冊(布絵本6冊、点字絵本20冊) 【緑分室】25冊(点字絵本8冊、ピクトグラム絵本1冊、障害についての絵本16冊) 【貫井北分室】9冊(点字絵本9冊) 【西之台会館図書室】2冊(点字つきさわる絵本2冊)	A	令和元年度は、本館、緑分室、西之台会館図書室で特別な支援を必要とする子ども向けの図書の追加購入を行った。令和2年度は、コロナウイルス感染拡大防止対策に講じながら、特別な支援を必要とする子どもやその保護者が、図書館に安心して来られるよう、環境の整備や、「安心して来られる図書館である」ということを周知できるよう、広報活動の充実もあわせて検討する。
61		来館希望への対応	特別な支援を必要とする子どもが通う施設から図書館への来館希望がある場合には、本人への配慮と併せて他の図書館利用者へも配慮して対応等を検討します。	図書館	特別な支援を必要とする子どもが通う施設に対して、図書館内で対応した件数 →1件【緑分室】桜町病院1件	特別な支援を必要とする子どもが通う施設に対して、図書館内で対応した件数 →1件【緑分室】桜町病院1件	特別な支援を必要とする子どもが通う施設に対して、図書館内で対応した件数 →3件【緑分室】桜町病院3件	A	前年度に引き続き、緑分室が休館日に桜町病院の子どもを受け入れを行った。休館日に実施したため、子ども達も安心して過ごすことができた。令和2年度は、コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら、特別な支援を必要とする子どもが通う施設から図書館への来館希望がある場合には、本人への配慮と他の図書館利用者への配慮もあわせて対応等を検討する。

No	取組	施策項目	取組内容	所管部署	平成29年度事業実績	平成30年度事業実績	令和元年度事業実績	事業実績自己評価	評価の理由及び令和2年度以降の方向性、課題等
第4章									
62	オリンピック・パラリンピック 1	オリンピック・パラリンピックに関連した読書活動	オリンピック・パラリンピック関連書籍コーナーを設置し、オリンピック・パラリンピック教育と関連付けた読書活動を充実させ、オリンピック・パラリンピック教育と関連付けた読書活動が充実していくようにします。	指導室	オリンピック等と関連した教育事業の実施校数 →市小・中学校のうち、10校の図書室において、オリンピック・パラリンピックに関連する図書のコーナーを作り、児童・生徒の意識を高めた。	オリンピック等と関連した教育事業の実施校数 →市小・中学校のうち、10校の図書室において、オリンピック・パラリンピックに関連する図書のコーナーを作り、児童・生徒の意識を高めた。	オリンピック等と関連した教育事業の実施校数 →市小・中学校のうち、13校の図書室において、オリンピック・パラリンピックに関連する図書のコーナーを作り、児童・生徒の意識を高めた。	A	オリンピック等と関連した教育事業の実施校数については、計画通り、オリンピック・パラリンピックに関連する図書のコーナーを作ることができたため、A評価とした。 引き続き、オリンピック等と関連した教育事業の実施を行う。
63	オリンピック・パラリンピック 2	図書の充実	幅広い世代の方にオリンピック・パラリンピックについて知ってもらうため、子どもにもわかりやすいオリンピック・パラリンピックの歴史、過去の開催状況などの図書の充実を目指します。	図書館	オリンピック・パラリンピック関連テーマ図書の実施日と実施回数 →(実施日)【本館】(YAコーナー)平成29年6月26日～平成29年8月31日 (児童室)平成30年1月5日～平成30年2月25日 【東分室】平成29年9月29日～平成29年11月16日、 平成30年1月21日～平成30年4月10日 【緑分室】平成30年1月20日～平成30年2月20日 【貴井北分室】平成29年10月2日～平成29年11月15日 (実施回数) 6回	オリンピック・パラリンピック関連テーマ図書の実施日と実施回数 →(実施日)【本館】(YAコーナー)平成30年9月4日～平成30年12月3日 (児童室)平成30年9月4日～平成30年10月14日 【東分室】平成30年9月2日～平成30年10月4日 【緑分室】平成30年10月3日～平成30年10月15日 (実施回数)4回	オリンピック・パラリンピック関連テーマ図書の実施日と実施回数 →(実施日)【本館】令和元年9月3日～令和元年10月13日 【東分室】令和元年7月4日～令和元年7月31日 【緑分室】令和元年10月3日～令和元年10月15日 (実施回数)3回	A	令和元年度も都立図書館が主催した「都内公立図書館共通テーマ展示『東京でおもてなし』」に本館・東分室・緑分室が参加した。本館児童室では、展示期間以外もオリンピック関係資料をまとめて1つの場所に配架するようにした。また、本館で作成した、市立小学校の学級に貸出している「団体貸出バック」の全学年全バックの中にオリンピック・パラリンピックに関する資料を入れた。 令和2年度も、引き続き、オリンピック・パラリンピックに関する図書の充実と知識を深める機会の充実にも努める。